

令和元年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 東北ブロック受賞事例の概要

【農林水産大臣賞】

集落一丸・攻めの地域づくり ～結乃村ファイブアローズの挑戦～

受賞団体：会津いなわしろ見祢集落・結乃村（見祢結乃村未来協議会）
（福島県猪苗代町）

◆むらづくりの背景・経緯

猪苗代町は、福島県のほぼ中央に位置する猪苗代湖の北岸に面し、東北西の三方を磐梯山等の山々に囲まれている。

平成12年の「中山間地域等直接支払制度」を契機に始まった話し合いの中で、営農継続や集落機能維持、地域の活性化等の諸課題解決に取り組むための羅針盤となる「集落ビジョン」を策定するとともに、集落営農組織や観光農業推進組織等を設けた。

さらに、各組織の連携を深め、地域づくりを一体的に行うため、平成29年6月に各組織代表を構成員とする「結乃村未来協議会」を設立した。

◆むらづくりの内容

○農業生産面

営農活動を担う「農事組合法人結乃村農楽団」は、農用地利用集積の受け皿の他、農作物や加工品の首都圏への直売、農家レストラン「結」を運営している。

高齢者グループによる特産農産物のアスパラガスの栽培管理受託や、若手後継者組織による定期的な農地等の保全活動等、集落ぐるみで農業の活性化に取り組むとともに、都市農山村交流による相互訪問や共同活動、田んぼオーナーや体験農業の受入等の交流イベントにも全住民が積極的に関わっている。

「いなわしろ天のつぶ」のサンプル米をミラノ万博に輸出した他、平成29年度にはJA会津よつば猪苗代稲作部会の構成員としてJGAP団体認証を取得した。

鳥獣対策班が中心となって、集落共同で設置した電気柵の維持管理や集落周辺をパトロールするとともに、狩猟免許を取得し鳥獣の駆除を行っている。



○生活・環境整備面

「結」において、集落の女性がパート就労し、運営やメニューの考案等、中心的に活動している。

現在11団体・2大学と交流している他、観光協会等と連携し農作業体験の受入れを行っている。

また、伝統神事の次世代への継承を進めるとともに、アスパラ祭や新そば祭等を開催し、集落の一体感を向上させている。

